筏勞鏞

平

特別
イ5
1607
4

東洋文庫

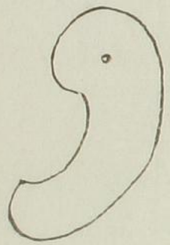
柳餘殘芳錄追加

考古

牙斧 三ノ九参考

裏ヘ白ノ 五十匁

白瑪瑙曲玉 三ノ九参考



東洋文庫

39 2498

石鏃 三ノ九参考　出所不詳

国光寺活字 四五　若樹君贈ラレタル分ニ属スルモノ多シ

築

篇

時

廉

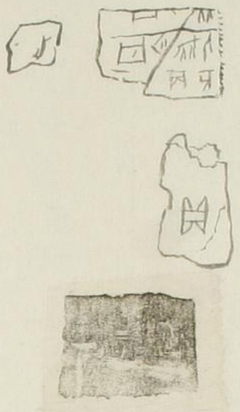
銘

西来寺活字 二　津市寺町西来寺真行上人使用ノモノ

盡

不

亀版 四片　牛骨 三片



明治四十二年頃ヨリシテ文求堂劉鶚ニ売却シ亀版牛骨ノ一部ヲ買ヒ受ケテ分譲ス　廣さ一寸、一組百金ノ上ニ出ル小異ハ多シ　拓本ニ一組ヲ拓ス　拓本ニ一組ヲ拓ス　拓本ニ一組ヲ拓ス

古泉　一ノ六、三ノ八、二ノ三、一ノ卅四参考

豆銀　六個　文字二、政字三、保字一

馬蹄銀

極印萬歷年ノ、十一枚程ノ比較きあり
考古庫ニ保存セラルル筆者、おこれ以上大きな
る延寿堂ノ蹄銀ノ筆者ノ今ノ名

文房

竹方溜筆筒

高四寸五分、徑約二寸五分、字屋瑞芝書之ものなり、二國侯と交あり、
手ずから印田に寄せし紙捻を百万本茅の小盤なりとて床柱床板四枚ものを手上薬にて
ものなり、徑二寸五分程、方竹を床柱材料にして珍しくものなり、方竹
八葉細工の筆筒なり、底周に稀有なる小石の蓬莱図、蓬莱山三人
ものなり、彫刻技巧古雅なり、太多なり、主法大多数笑会
にて用ひし床柱用のもの、四方に切り、多年筆筒を書斎に
方形の型にしてもあるなり、人多くて法にあらず

銅枝折

黄門義唐天賜、義の書にて多和なり、印田和泉守

[illegible]地 市川九郎の家伝なりと伝へし時の硯なり、もとこれ[illegible]
[illegible]五十餘年[illegible]。

雌黄 一塊 七二寸餘 径一寸三分 圓筒形、二十四角

支人花木機曲（上毛人称 啓次郎） 四面彫刻 日清戦役に従軍し春帆楼
持帰りし品なり、高さ六寸五分 幅[illegible]
一種[illegible]、[illegible]、給[illegible]に小函に入れたるが時代の知れず、
[illegible]錦 赤瑪瑙 紅[illegible] 所々浦和、[illegible]、[illegible]、
[illegible]が經筐入れの[illegible]一杯[illegible]
[illegible]

朱 十四色 二

[illegible]

[illegible]、素に横に丸の書[illegible]下に自選上漆硯□発行□
[illegible]丸の老店伯永、海者城鉄硯、中約開発貨志、價実童実
[illegible]

乾杯硯 二個 支那製 和製[illegible]

黒漆硯 一、 高さ四寸二分、縦八寸五分、横[illegible]、内面朱、此[illegible]
面[illegible]、抽匣[illegible]二寸二分、[illegible]巾三寸
八分、[illegible]巾一寸六分五厘、全[illegible]皮[illegible]、[illegible]
[illegible]

紙[illegible] ナイフ 一、 鉄製

[illegible]、白山[illegible]

ケ、道の要ナイフ並ニ之レ等ノ如ク、一挺三十銭ト云フ、之レ

下ニモ小ナル小刀アルカリ

生来ノ備ヘ、至ル所ナイフ携ヘ、ソレ等ノ用ニ之レ供ス、所謂テキヤ屋ノ引ク道具ニ、双ツ国ノ産ノ鉈ヲ尺ノ鋸ノ如キモノ、今ニ到ル迄ナリ。

生花用小刀　二

是レ生来ノ手ニ慣レ、櫻井ノ母ニ与ヘタル小刀鋏ト云フ、右時ノ所一所用ニ堪ヘ、是レ紙切ニ用ヒタル武人ノ首ヲ切ルニ用ヒタル刀ニ勝レ、三村氏ノ家ニ、其ノ時ノ遺ノ物ト、日露役従軍中ニ携ヘテ来リシ備前刀鈴木曹長（伊予出生 郡史人）都度ニ用ヒタル従都ニ帰リテ後ノ小今ニ至ル迄ノ如キ、是レ結細ノ内人鑑賞利ニ用ヒ。

唐鍔　四

一ハ古代金ノ船来品ニ、普通ノ柿ノ小形ノ現ハレ裏物ノ如ク、其ノ物ハ城紫色ニ、一ハ源氏平家ノ戦ヒ乱切鍔ト称セシ硬物ノ光人様ノ柿ノ如ク、巴紋ヲ配ス拵ノ五十年ノ歴ヲ経タル鍔ノ如ク、一ハ銘ハ鉄ノ如ク、未四製ト一ハ同ジク銘ハ古ノ如シ、之レ亦古ノ未四製ノ如ク、之レ亦古ノ製ノ如シ。

製刀作箱　一

大正七年十二月四日、山中芳太郎氏ノ横浜ノ日蓮宗ト古ノ、清芳寺ト称ス印表紙（此箱ハ作者ノ記ナリ）ト記シ、清芳寺新宮下ニ住シ作細工人ノ彫ル

目打錐　一　三角ノ中、之レ丸ノ如キ表ニ、

切出シ　二　一ハ市川田庄氏製

紙製唐丁　二

表紙ハ田宮と彫刻師の自作にて
豊峰行と奇良氏より寄し書すと仙義子

二挺ハ二挺寄し、一挺ハ八丁堀に見世の性絵鑑とあるのこと
なり、又自由自在、法又ハ行ハ、行ハ、ハ行と称と題と形に悔と
つくと行ハと行ハハ堺幸屋と行ハ。

彫板　二

一ハ内人と兼用ハ四尺餘なり、一ハ一尺四寸斗のもの也田一名ハ
蔵、ハハ浦和にハハ殖り、大ハハ
定本　二

彫刻定規ハ御徒行にハハるもの、ハ定本ハ八丁堀法師
の行者堂ハハ所ハ家なり、ハハハに成り。

木槌　一

彫刻に目打鎚と叩ハハ習ハ松板のもの、ハハハ作者ものハ神宮
寺ハ満願ハ作ハ大鉦に大金具ハハ造家なり、ハハ成し、十三
表之、ハハハのハハ今に補法ハハ。

針　五

川添堤雨　金法具ハ針ハハ櫻道ハハ時ハ定筒之、ハハハ
行き、ハハハ鉄金ハハ、堤雨ハ新法ハハ用ハ長ハハ、
表金面ハハ、製表の地表にて一家ハハハ死ハハ。嘻、

玩弄

瑪瑙貓兒　唐製多〻此圖抱之ものと可愛

此方多〻

一	二	三	四	五
千手觀音 鑄 手四本 一寸三分五	正觀音 打出し 巾八分 一寸二分五	十一面觀音 鑄 一寸二分	十一面 一寸四分	正觀音 打出し 一寸七分
鈴鑑 徑三寸六分	鈴鑑 徑三寸六分 巾三寸八分五	鈴鑑 二つに割れり 徑三寸 巾三寸六分	鈴盤 三寸八分五 巾三寸七分	銅鑑 三寸三分
天蓋 深四分 巾八分五	天蓋 深七分	天蓋 八分 鸚鵡一つ殘	天蓋 七分	天蓋 八分
瓶ばり 華多し	瓶多し	瓶有り 華多し	瓶錆鈴 華有り	華ばり
環の形にて孔なし	環の孔はかり	環の形にして孔なし	獅頭環	孔ばり
室町期	室町期	室町期	鎌倉期	室町期
	粗製		上作	粗

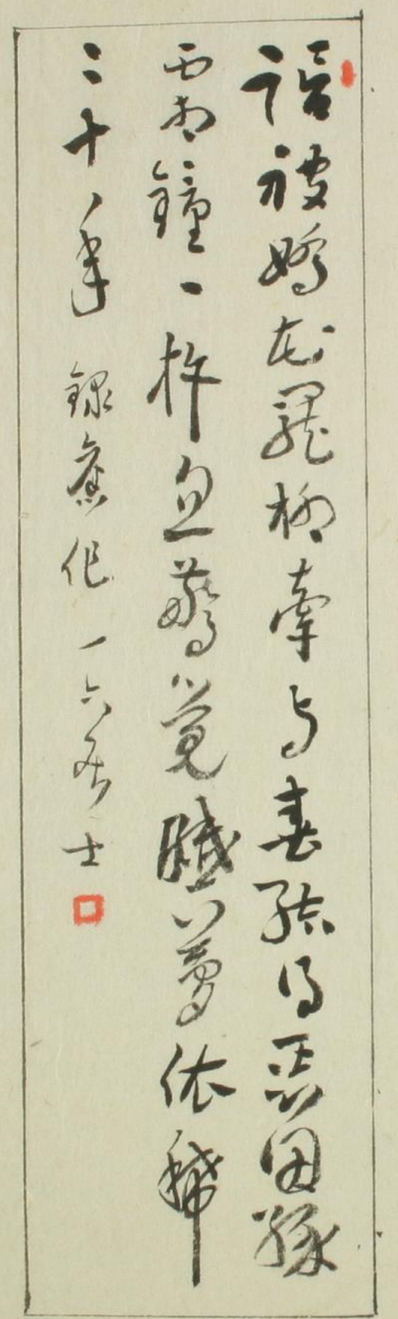
六	七	八	九	十
止観音 毛彫 二寸三分	十一面 錆 有光背 一寸七分五	千手 打出し 手光背有	十一面 打出し 手持蓮花 三寸五分五	止観音 打出し 二寸
銅盤 三寸四分	銅盤 裏板付 三寸九分	銅盤 三寸八分五 二重縁ニ 銀打	銅盤 四寸	銅盤板付 三寸六分
	天蓋 除一寸二分	天蓋 一寸二分		天蓋 一寸一分 瓔珞付
花瓶花 反縁ニ毛彫	花瓶 花切金	花瓶 花切金ば り	花瓶 花付	花瓶 華付
環の形ト て孔付	花形ノ環 鋲付	環ニ彫刻 付	花形環	花ノ環 環一寸九分
室町	室町	室町	室町	室町

十一	十二	十三	十四	十五
十一面 錆 光背あり 一寸七分強	十一面 有光背 三寸五分	止観音 打出し 一寸三分	止観音 打出し	十一面 錆 有光背 二寸三分
銅盤 素板付 三寸八分 巾三寸八分五	銅盤 素板付 四寸〇五	銅盤素 板付 四寸二分 巾四寸一分	銅盤素 板付 三寸五分	銅素板 付 五寸一分
天蓋一寸 瓔珞あり	天蓋 一寸五分	光背毛 彫蓮花 毛他同	天蓋除分	天蓋 一寸五分巾 三寸三分
華瓶花	華瓶花	花瓶花 付	蓮花瓶同 ノ銀ノ毛彫 ニテ花ハ刻ニ 描	花瓶花 一重環鋲 付
花環 有ハ名ト	環 鋲付	環 花ハ名ト	環 鋲付	孔付り
室町	室町朝	室町	室町初	室町
上品	上作		粗	上

十六	十七	十八	十九	二十
正獻書 打ち有光背	十一面 鏡 有光背	正獻書 打ちなし 光背毛彫	釋迦 鏡	十一面 鏡 有光背
一寸二分	三寸一分五		三寸五分	二寸五分
鈴鹿形付 四寸三分五	鈴鹿形付 四寸八分五 巾四寸九分五	鈴鹿形付 五寸五分四 表墨書	鈴鹿形付 五寸四分	鈴鹿形付 五寸五分五 巾五寸四分五 有墨書
	天蓋五分 瓔珞あり	天蓋五分	天蓋一寸二分 有瓔珞	天蓋除一寸三分 有瓔珞
花瓶花	花瓶花 二重縁鋲打	花瓶鋳銅 周辺小菊 下部浪形 撃毛彫	花瓶鋳銅 有花 二重縁鋲打	花瓶花 二重縁鋲 上梅花の二 巾措き
神馬環	神頸環	神馬環	神馬環	環右方 一寸二分
宮殿	宮殿	宮殿	鐘倉 堂殿	堂殿
〃		相	〃	〃
				奉納入 永享九年十一月日 願主敬白

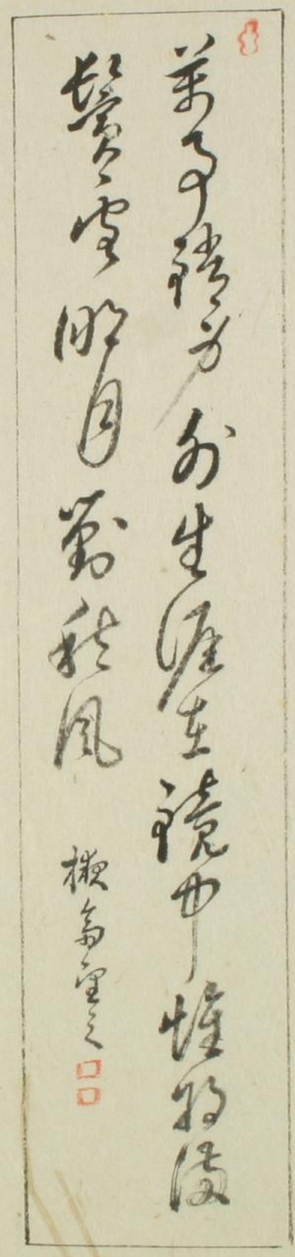
書風

巖谷一六長修作　楳紙表具



紙本墨書　巾一尺二分、軸首印白文蓼園不知跡芳藝業、上方
題延之四字、名印白文白沙翼竹古印等、昭和十年十二月
三日表装、軸表紙に巖谷一六氏の共箱、此方五絵二首の巻物
上方に、二條殿、非常に玉房の美しき物なり、巻末に幼年鈴木堂技、堂

生ずる弱点なり、ただし八家がり九幅に亘る、その長持に入れたるが、只
世先生とのみ書きて面西を写せる一点は、その書を写したるが、多分日本画に豊後を
写したるなり、此先生は誰作か、且一点の書風に対し今古同情なる所感、さ
ぞ一点にて出来不出来多く、俗悪の方なるが、此幅のみは神品
いとゝ、大奮発なり、四四二十六に入れたり、他の一幅と共に
品を二幅を掛合せたいと入れたり、詩は赤壁の、
稲谷椒富書幅　浅草紙仕立一文字　縦子床軸　杉函に手作之



唐紙巾切七四尺四寸二分中分二分、引首印朱文瓢形中に椒富、名印
白文稲谷陳之白文字御雪、大正四年の秋此幅文行堂に到る、流芳亭
所に入る、異所美術品なるが、全く良古紙なるが、再に入れたるが、
なるが、文行堂人なるが、西遊せし、金子氏なる宣毛と短冊とを
幅を焼き、同氏の社主なるが、一幅を賜りし、常時百金の良品
と記憶せし、今日相場は二十五四と、此後峰雪氏の絵幅
なるが、瑞山氏なるが世評なるが、無形贋国更に極書と聯句
なるが、川崎、蹴月、なるが、市島春城氏なるが、横尖せし由、なるが幅なるが、
なるが、小説、観世なるが。
椒富板富手箱全装　箱表裏浅草紙仕立更紗軸剪紙帯
上段椒富一尺一寸　下二段極書二尺九寸一分
祝文注十三十四」書「第十九」「今年」表朝日平新聞「光」臨「夏蔭

[illegible]「知[illegible]」六月廿日」著翔日[illegible]「[illegible]」[illegible]「[illegible]」

小島五一拓当用　松崎慧雲」新書可喜此書吐[illegible]謂[illegible]客来」[illegible]

拓本及[illegible]」蕉堂之微[illegible]石[illegible]「[illegible]」

[illegible]下千[illegible]「[illegible]」[illegible]五[illegible]脚[illegible]小瘡[illegible]一種如[illegible]疥瘡[illegible]

[illegible]苦痛[illegible]」[illegible]不[illegible]大困[illegible]丈[illegible][illegible]今一面

[illegible]大[illegible]」[illegible]稿[illegible]。[illegible]此許[illegible]

[illegible]」[illegible]。[illegible]

[illegible]「[illegible]」[illegible]

[illegible]「[illegible]」[illegible]

[illegible]「[illegible]」

一月某皆傳門新歌会初齋潮領春亮子銘視法師の遠了翁多人　如真山人敬

方相を今年の恢拙を提げ来る、詩と一身栗媚の形容和斉潮
領美客子鉛魂匠此始拙と送了能多人、印と白文此事山人と分
所謂氣の初り恢之、此絵者十分の出来しるし成和、拙なと助
う。紙本三尺三寸五分巾八寸五分画賦
墨沖和尚小切壁貼幅　杉函入天地表細絹中巻第七宗家偽玉一文堂珍品
所軸巻塗頭箱形
紙本　八寸七分巾三寸七分　義漢紙ゥ　昭和五年十一月十九日御葬之事

直三十五圓

張崇淮山水半切幅　白樫紙大和表全刷尽第一之宝珍品竹角頭箱軸
紙本　三尺三寸一分巾九寸二分　玉蘭淮之　銑法人　雲泉つ多了

江山清奏
[illegible]

此掛軸墨畫蕉葉の印白文墨霞樓若しくは、昭和十八年一月廿六日夜
高洋[illegible]中にて求む直三四寸長四尺巾に表装せり、
加茂千蔭一行墨幅 一紙金襴天地鼠紬注中巻菊唐草織子 軸装 桐箱

紙巾二尺九寸六分、巾八分、引首朱文芳室図、名下
朱文楊朝・臣千蔭、世説巻六、徐勉生時為吏部尚書
嘗与門人板案、客有聚斂五官東宮職勉正色曰、
夕止可辨色乃、又空及[illegible]、時人称重焉、白〻、千蔭の一行巧妙にして世称之、昭和十五年十一月之日芳室記之
三七四二十歳にて薨れ

鈴屋名和歌五首懐紙幅 大和義[illegible]賜名帯、一文字鯉魚金襴巾二重花唐草金糸織子天地太平印[illegible]織黒塗軸 手次付き

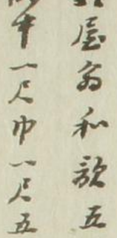
紙巾一尺巾一尺五寸、

水郷秀色

[illegible]

結部立

[illegible]



[illegible]

書

[illegible]

[illegible]

明治三十六年三月十日津ヘ行き[illegible]
を以直二四[illegible]し[illegible]諸匠平次[illegible]義[illegible]
て一見を曰、あゝ宝ヤ[illegible]
字[illegible]
[illegible]

慈恵堂者行基菩薩切幅　一尺金襴中巻[illegible]軸

紙本三尺三寸五分中[illegible]五分、下ニ引[illegible]字を大書し上ニ左を文[illegible]

「[illegible]一光を見る見て止[illegible]慶堂に」[illegible]胸中に[illegible]

瑞雲[illegible]

引首印白文如蓮華・玉蕚水、若下圖印、白文[illegible]、方印白文梵音・迦

[illegible]五庵氏、明治四十四年五月[illegible]田[illegible]を[illegible]諸匠を義[illegible]直二

[illegible]

海旭上人横幅　[illegible]恵を[illegible]一丈[illegible]白[illegible]金襴角軸

紙本九寸三分中一尺三寸三分

謝[illegible]丈人所惠[illegible]作茶次瑞[illegible]　壺月浪禅[illegible]拜

新晴天色碧琉璃岩[illegible]寺[illegible]白玉枝[illegible]拙[illegible]多[illegible]巻[illegible]話[illegible]入

上林[illegible]金[illegible]日照[illegible]恵[illegible]德[illegible]紆[illegible]電[illegible]經[illegible]疑[illegible][illegible]何唯芝[illegible]地[illegible]

期後会遥かの時　大正乙丑二月上二拙未是草

印朱文壹月百々刻ス[illegible]人[illegible]加師々淡華ト人[illegible]川西[illegible]ト往復
ニテ[illegible]上ラレ教ヲ乞ヒ[illegible]山芝中学ニ校セラル[illegible]日曙講演ニ三週
維摩経初ヲ講ジ講了後ニ詩ヲ賜ハル時賜リ[illegible]ル上人ト遂ニ[illegible]
[illegible]別ニ詩ヲ[illegible]。近来高浜[illegible]。昭和八年一月廿六日遷化ス
十二歳。

森槐南画帖ヲ[illegible]ル　畅　華鬼紀文人春[illegible]白雪一文字石丁字[illegible]文拙全[illegible]
檀軸

巾一尺一寸四分縦幅

夢為漁父臥疎蓬莎草江南煙雨中天外一聲鈴不見笠檐蓑衣
緑濛濛　雨中雞句　槐南

印朱白文大来、昭和十九年六月廿日[illegible]二十七回忌[illegible]
[illegible]夢為漁父[illegible]　[illegible]

の[illegible]

[illegible]壹淩重花卉[illegible]畅　画賛文人義[illegible]　[illegible]軸

彩画梅花、壹芝水仙、若葉、[illegible]　甲子[illegible]千年山[illegible]家屋
淩重[illegible]印白文淩重朱文千里、杉[illegible]　白文[illegible]　志在千里　唐紙七四
尺五寸三分巾一尺、昭和十五年十月廿九日[illegible]六回忌[illegible]孔、画[illegible]
[illegible]　[illegible]和[illegible]杉[illegible]
杉本法橋墨竹十切帖　天地壁唐紙一本ヨリ[illegible]節中[illegible]一文字[illegible]軸

紙巾七三尺二寸九分巾八寸六分、

白文

白文

竹清者道之藏の濱邸被未空初多品頒懐古之一

田子藏の印鑑の清なる表紙に仰て感嘆せり、

[illegible]

濱村五世藏六先生 長箋半切帖 緑紅唐紙天地唐紙金箔一文字黒塗軸

昭和八年三月十

[illegible]

ある文行堂をマクリと三

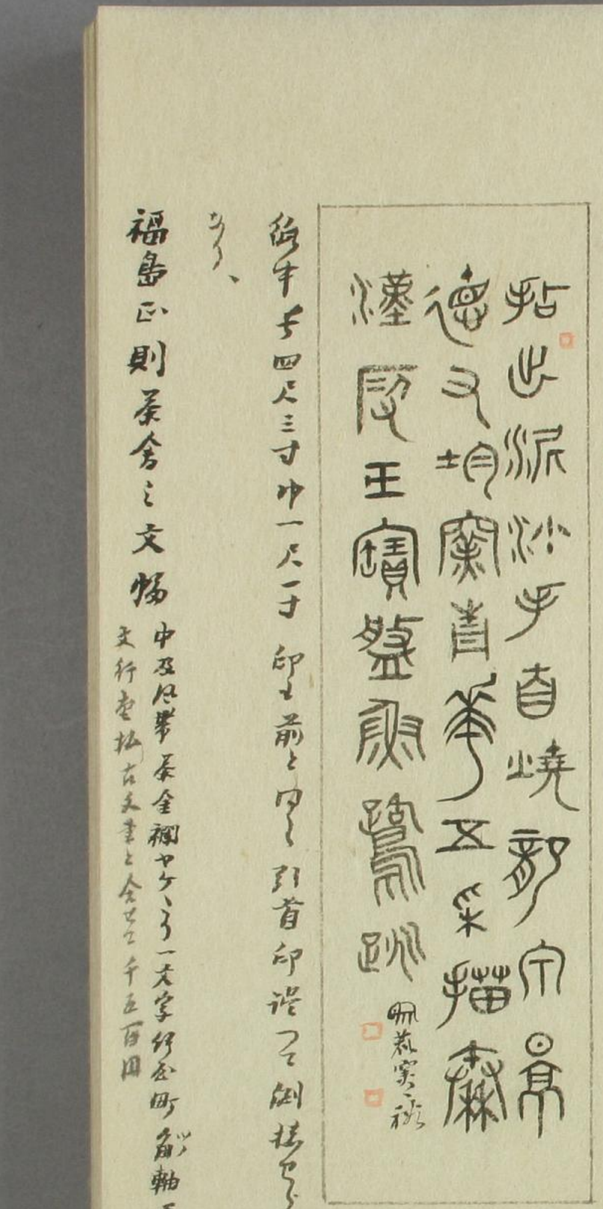
紙巾七三尺二寸九分巾八寸六分、印首印、朱文方印 結金石緑名下白文濱村

裕果文孟六刻 明治四十二年十月 津の安井文松老人の、[illegible]示信者[illegible]

[illegible]

[illegible]

藏六先生半切帖 表紙前と同

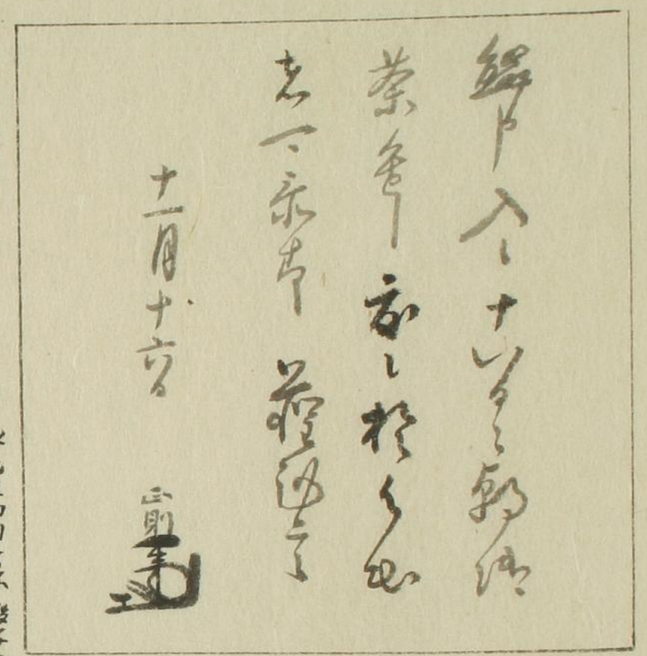


紙巾七三尺二寸九分巾一尺一寸 印と前と同 印首印 [illegible]

[illegible]

福島正則 表金と文帖 中巻 紙巾 表金 [illegible] 一文字 行書所 [illegible] 軸 天地細 [illegible]

文行堂松 古文書と金箔 千五百四



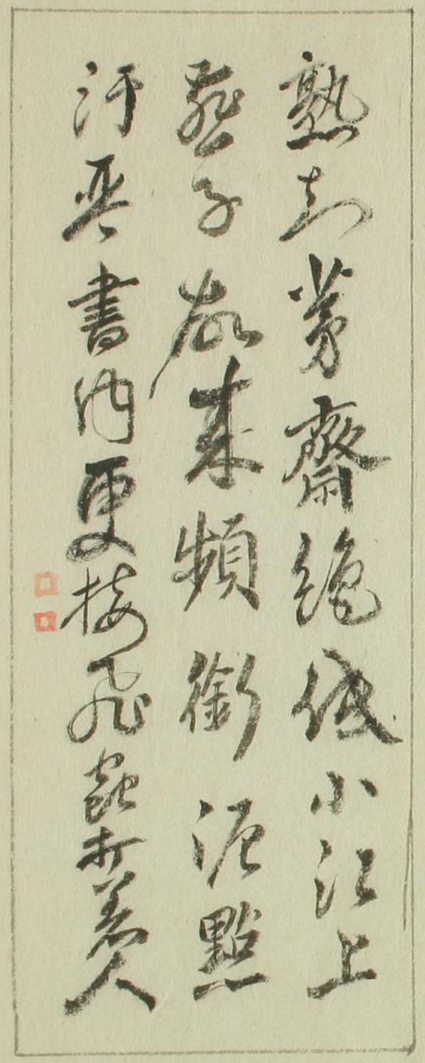
紙本十四尺二寸八分巾七寸五分 名下印白文 皆川愿印、伯茶氏美萱刻之

昭和十七年二月吉日 芸艸堂印 八枚二十八四分平

皆川愿画畢 行年卅四

賛名海屋全紙幅 文人紫紙金襴一寸牙軸

云誰之思彼周
二子
皆川愿寫



熟玉蒙齋繪
彩子為某頻御
汗乎書内更拙

縦中長四尺二寸巾一尺寸三分 手の行き届きたるもの
遠き所なり 印なし 印は白文貴名邑印、朱文君茂、印は所アブレなり
昭和十九年二月日 小西[illegible]

印は[illegible]

石川柳城墨画山水 双幅 共第 蒙樵軸 微子文人画 一文字 蓴玉 寛金穆 昭和 白蓴

縦巾 七四尺五寸八分巾一尺四寸一分 題詩及画賛

松花亂點石牀遠 清影分家書筴除 野渡無人舟自横 一響山如青
古日如年壬子春晩窓并題柳城老人戯 □ □
雁帰断絶友遠志 久客多病秋逢年 耕渡蓼花紅已褪 鱸魚吹
老習江風紡作此図并賛録 渾海查移千 詩乃井上君 清房友
政柳城老人戯 □ □

後彫新百人　松院法主
柳生備州　筆畫雙幅

甲寅梅花月　鼎亟于京華日海陽
印〻〻〻〻〻、此人清の四年恒和尚と交善年〻鏡の〻〻未詳、
〻〻〻〻〻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

去三箇年ノ秋ノ比ヒ所用ニ付テ世ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]、豊房文屋月峯ト梅ヲ画キ蒼凡月ハ蕉玉オ
俳句ヲ[illegible]事切、横山華山事切福禄寿ヲ[illegible]
[illegible]、[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]、[illegible]
[illegible]、[illegible]
[illegible]、

御年七二尺寸三分中一尺七分、上部ハ円形ニ赤き紙を つゝて ゐる
ゝ今知ぬ、上着黒き梅鉢紋ちりめん交織茶白ニ金糸縫形ち
り、掛来歳ハ、常時の[illegible]ゐる
此幅ハ、[illegible]ゝ故法の聖法[illegible]ゝ[illegible]氏中蔵亦[illegible]ゐ針
義印義景禎氏[illegible]入形の[illegible]形[illegible]ゐ皆[illegible]ゐ梅宗氏[illegible]

の事ゝ[illegible]氏[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
の[illegible]ゝ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

香爐峯　縦一尺ト六分　表紙ト紙　一巻　弘文荘旧

見返ニ朱文陰印大田氏義書、朱文方印南畝文庫、朱文陰印高嶋
書屋ノ印アリ、言為書屋市川左国次、内袋左ニ記ス、朱書曰山人之
北尾重政　太助　虎亜　墨画淡彩納言第五図　花押アリ、
香爐峯の雪ハ簾を撥て看る　玉簾為ゆるす世を背き得て閑居の楽
角觝谷風梶之助手形　朱ニテ拇を捺ス
戯子中村冨十郎慶子　於泰田庄銭屋所画　墨画彩色
銭子中村仲蔵秀鶴　自書半紙
[illegible]紙ハ[illegible]紙」ハ[illegible]若太夫振、[illegible]」[illegible]四も今日之」より
[illegible]」[illegible]」[illegible]」

[illegible]

三升 [illegible]

龍子正旦 [illegible] 川菊之丞 路考 後文 舞 仙女 半紙

時鳥 男伊達 [illegible] 路考

冨本豊前太夫 錦馬 半紙

七変化 [illegible] 中 [illegible] 錦馬

[illegible] 市村羽左衛門 家橘 書 懸紙

万歳を [illegible] 亀和 [illegible] 太夫 [illegible] 人

德 [illegible] 御万年 [illegible] 太 [illegible] 井 [illegible] 人

[illegible] 楊太夫 元家

[illegible] 御 [illegible] 孫

[illegible] 自文

[illegible] 七文 柏延

[illegible] 祖父 西来 [illegible] 柏延子 江都 [illegible] 三年 [illegible]

[illegible] 正生五代目市川団十郎三升 [illegible] 同海老蔵柏延七歳画

後改蝦蟇自称

後改六代目団十郎三升

[illegible]

印白文 [illegible]

杏花美而 [illegible] 紙吹絵紙長一尺一寸四分 朱文方印南畝文庫 朱文 [illegible] 書屋

耳順乃説 [illegible] 同上二巻 三千四

声入る [illegible] 耳順の記 [illegible] 大西の言 慢 [illegible]

[illegible] 今正惑耳順乃文字、世上 [illegible] 版 [illegible]

安 [illegible] 此江乃朱 [illegible] 耳順 四十 [illegible] 市川五郎六

十 [illegible] 耳順、正惑 [illegible] 四十乃称、此 [illegible] 戸迷 [illegible] 大小 [illegible] 乃

方 [illegible] 耳順 [illegible] 千乃 [illegible] 名、[illegible] 雑 [illegible] 東 [illegible] 乃 [illegible]

[illegible] 乃耳順 [illegible] 筆 [illegible]

[illegible] 翔鮮乃 [illegible] 茂 [illegible] 耳 [illegible] 乃 [illegible] 日本 [illegible] 日本

[illegible] 犬 [illegible] 耳順 [illegible]

耳順 [illegible] 人 [illegible] 様乃 [illegible] 猫 [illegible]

[illegible] 日和 [illegible] 耳小 [illegible]

[illegible] 耳小刷 [illegible] 馬 [illegible] 桂 [illegible] 浦 [illegible]

[illegible] 砂 [illegible] 大 [illegible] 中 [illegible]

[illegible] 蛇 [illegible] 鰻 [illegible]

[illegible] 棚 [illegible] 遠磨

[illegible] 遠磨 [illegible] 三五 [illegible]

[illegible]倉の耳 馬[illegible]と云ふ 信濃里の蕎麦と義経、許由の耳 [illegible]と云ふ 千川[illegible]と云ふ 耳摩記を細川京の[illegible]と云ふ 耳臺 [illegible]俳優子の話に云ふ、茶[illegible]の耳 [illegible]と云ふ 鹽の耳 [illegible]の耳 [illegible]と云ふ 飯[illegible]と云ふ 内侍の下 [illegible]と云ふ 蛇の耳 中村に云ふ [illegible]の耳 [illegible]と云ふ 雲[illegible]と云ふ [illegible]の餅の耳に云ふ [illegible]、[illegible]の耳 [illegible]と云ふ 耳到の[illegible]と云ふ 耳[illegible]の小[illegible]と云ふ 唐に云ふ [illegible]と云ふ 新[illegible]と云ふ 投壺の耳 [illegible]と云ふ [illegible]の耳 [illegible]と云ふ 耳[illegible]と云ふ 耳[illegible]と云ふ 耳[

尻焼猿人 屋敷公子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

落栗庵元木網社歌初會

木室卯雲 半切紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

落栗庵

節分

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

望汰樹祝阿弥 自書半切

奉呈陸奥先生

食厨喰日

三月四日望汰臺少年多兵迎客杯人情共酔中白乙何年従

午時来

此常盤[illegible]

松屋錦女（東叢山下茶店）　色刷蘭の画巻半切

久思恋のうた詠歌

[illegible]

北尾重政（花草紅葉斎）　半切

御身与而頃待　紅梅と[illegible]　刻恩美与[illegible]　赤紅と青加仰[illegible]

為筆料　白銀壹匁　進[illegible]　美[illegible]　両眉一[illegible]以上　錦月[illegible]

（裏ノ）　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　半切

北尾重政　安田梅峡　北尾政演　政美　[illegible]

（四山書入）天明二年壬寅[illegible]月十[illegible]　[illegible]舎耕書堂　[illegible]宴文字[illegible]者九人

本巧耕書堂　[illegible]　四巧　[illegible]秀和　政美　政演　梅峡　[illegible]

原武太夫盛和

（六者ものはしたるべし）

[illegible]

此書ハ三綱ノ名人原武右大夫翁ノ始名
松五郎

唐衣橘洲 和歌堂別号 名巻従 字温之 小倉藩之助 年記

五首夷歌

蚤虱　　橘洲

数こうるもとりもちあつめてそ蜘蛛の糸とぞ思ふ

夏貝

そよ〻吹く波のたよりにうちよせてあるるとまでも貝

秋魚

秋ごとに鮭乃一尾を鰥ぐ乃ゆ

冬雪

降ぬ雪ゆ年の老乃ゆ白髪

虫獸

いとをかしなくなる虫の音を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]。[illegible]白拍子[illegible]の道。[illegible]て。[illegible]
の[illegible]。[illegible]と[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。岡の屋志[illegible]。此志情の[illegible]藻思を摘
[illegible]。詩腸を賭す仲秋の摩を[illegible]
て。[illegible]の月と[illegible]。一編を[illegible]
[illegible]。[illegible]と[illegible]二聖[illegible]
詩つくり疲とる[illegible]。是[illegible]連歌所。[illegible]村学究の[illegible]
題きもの。吾望芝浦(シバヒロ)堰に取る[illegible]。岩槻煮の[illegible]
[illegible]。[illegible]月白[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
らす。[illegible]の[illegible]。[illegible]。[illegible]
の[illegible]。[illegible]人[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]若此外飾(ミカザリ)[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
饐。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]

[illegible]。今年の[illegible]月[illegible]。[illegible]小島[illegible]
[illegible]。[illegible]論荘の賦[illegible]。[illegible]。劉伶
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
の[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]

[illegible]

東作

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

平秩東作　半切

佐二郎殿

尚井て、ひろもりのうしん、御いしんてをかをる、感しる
まひる、ひろもりのはなし、ソフシヤトサ、行をるをるをるをる
をるをるをるをる、面白き事、いよ〳〵ひんしつを、四方を結り
いをるをる、をるをる三をるをるをる、をるをるをるをる、
金拉三絃、別有田子淫、海船之所着也、亦有倡婦請金歌曲、碑
中書而與焉、

庭すゝみ

風をるをるをるをるをる、新なる野をるをる、石をるを
し、をるをるをる、高をるをるをるをる草、
ひをるをる緑をるをる、をるをる、をるをるをる梅

〻頭〻、をるをるをるをる日にてをるをる、笑をるをるをる
をるをるをるをる、コノ神の春

（写山をるを入）安永六年丁酉十一月四日　稲毛子所方

刷知短冊方屋写山人版下

恩母ゑを十賀　春木花　寄繁祝

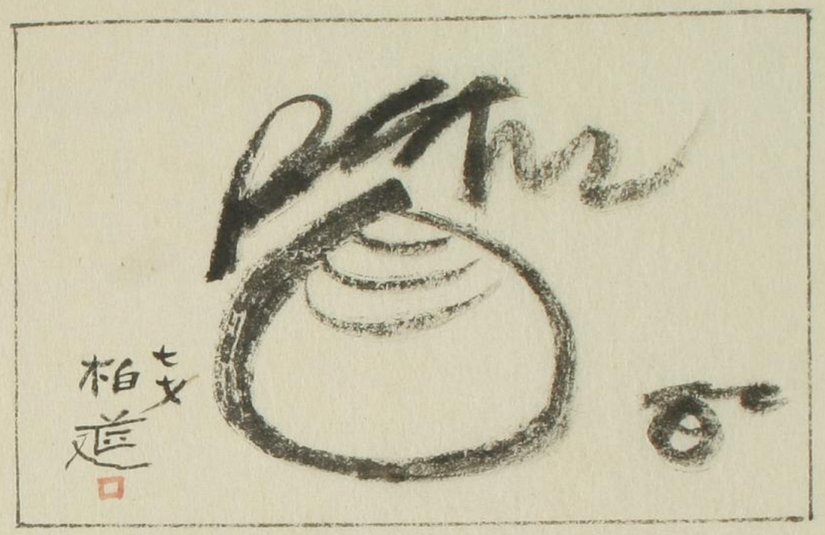
来〻三月廿四日時雨を少行茶屋ゑ私宅を如ゝく朝ツゝをる〻春方まで
粧敬大金付ん方行をる人をるを内来ゝ当日内幼席の広方粧
文粧敬をるをるゝ方方初座ゝ行ゝ但ゝ当日茶如ゝ
をゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ

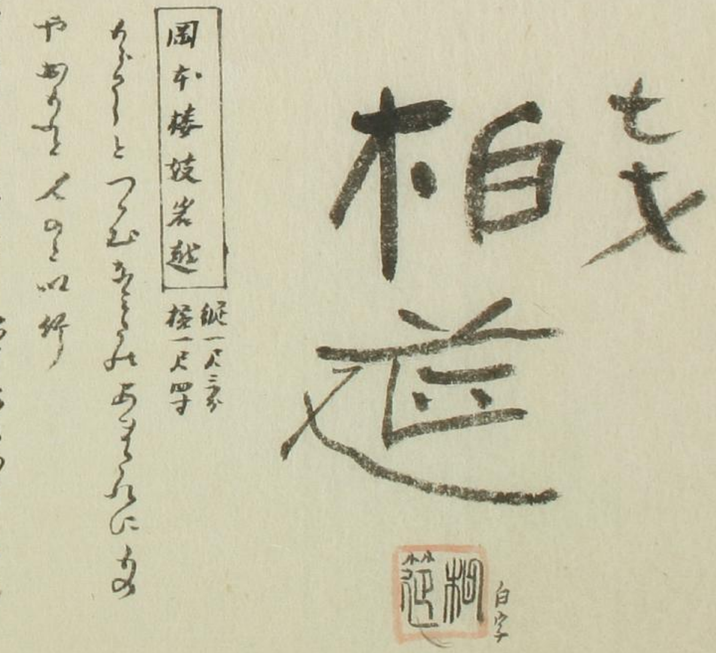
四方御連中　様

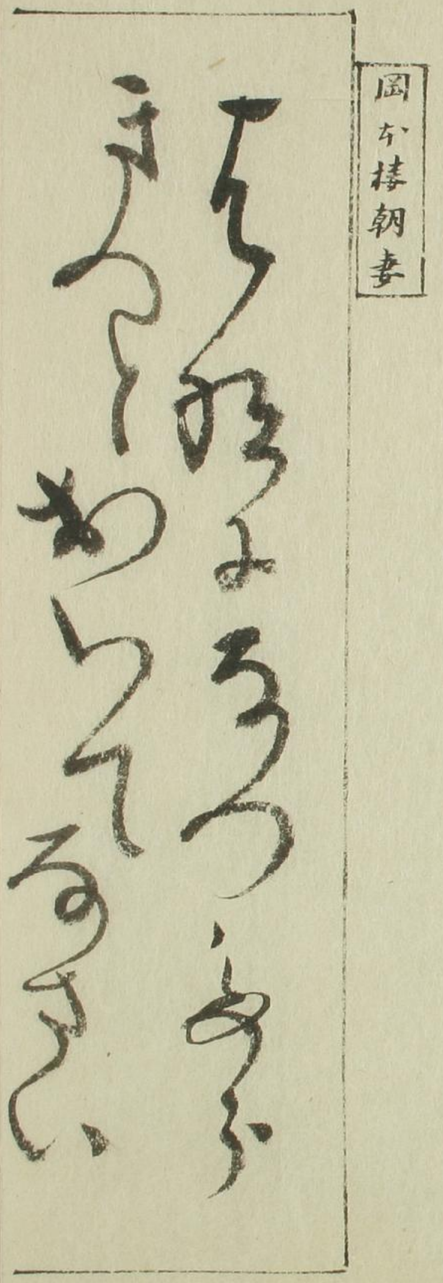
以為ゝ

（朱刷消筆）当日勝手ゝ付　日白墨　大黒屋八郎ゝ来方、引紙ゝ

六代市川団十郎　紙一人ゝ
板一人四十ゝ







市村羽左衛門家橘

[illegible]

橘の家紋

松平備後守瀬川鯉坂川巡

[illegible]

見書妙川あき書を嘆
深閑後坂水兼魚屋坂
而今世載如西書屋

人去畫屏山殘夢一

作者 [illegible]

秋壑表裏陵移帖　支那表具中白美絹天地白紙黑木軸

紙中七三尺巾一尺四寸　密画書屏風数書と印と印色とも[illegible]

昭和十四年九月一日廣田[illegible]三田[illegible]と　款曰

秋巒表裏　擬耕煙外史法　叔涵丈人鈞鑒　癸巳九月官澄謹繪

印々白文王印官澄、朱文字曰鷺田

短冊

賀三浦樓鑿榮　老子香三心[illegible]人[illegible]廟の三[illegible]の君　豊芥子

吹絵打巻短冊　昭和十五年十一月十吾　支行主人自慢[illegible]求む[illegible]

吾芥子短冊　初[illegible]、三浦氏[illegible]短冊一束[illegible]中に此一葉

の[illegible]屏[illegible]しし由

書　[illegible]此世に[illegible]

[illegible]引天地[illegible]、東[illegible]冊引　北野庫と

和秀[illegible]人[illegible]の[illegible]百人一首を[illegible]

[illegible]

[illegible]

鳥子紙打巻短冊　加[illegible]櫻鳴之[illegible]桂所[illegible]見經

鄭[illegible]

洗草短冊嘉[illegible]冊　[illegible]山人三古舎、短冊[illegible]

[illegible]中[illegible]枝[illegible]此一葉を[illegible]

[illegible]

金沢入国後十年経て神保氏四世芳坊と
此方に抱一和尚水仙忠邦俳句蔵国と行き合ひ
非常に親密なり以上後年大人方に経冊引地金、
為替、函、[illegible]の[illegible]、抱一以下五[illegible]文行[illegible]
譲り[illegible]。

西山宗因筆太神宮奉納百韻一巻相函入、青地錦丸華金襴表
紫、[illegible]紙[illegible]文[illegible]
の重冊文[illegible]と表紙[illegible]、[illegible]、[illegible]
寛政四年正月十一日　紫五寸五分空白
賦初行連詩　大[illegible]
日乃御影い面不、かゝ[illegible]神[illegible]春　宗因
四方に[illegible]ゝ[illegible]咽不天乃戸　宗春

白雲と[illegible]、峯乃花[illegible]
駒[illegible]山[illegible]山と[illegible]四　宗因
川[illegible]月と[illegible]朝朝　宗因
[illegible]、[illegible]、岸の[illegible]行　宗春
舩下に袖[illegible]、かゝ[illegible]
[illegible]、遠方乃里　宗因
軒[illegible]、[illegible]　宗因
[illegible]山の[illegible]、[illegible]　宗因
[illegible]、[illegible]、[illegible]　宗因
[illegible]、行[illegible]　宗因
[illegible]、袖乃[illegible]　宗因
[illegible]中の[illegible]　宗春

[illegible]

[illegible]、世の[illegible]

涼みする橋、[illegible]

みくしの[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋[illegible]

[illegible]、小山田の庵

生[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

橋白妙[illegible]

因　夏　因　月　夏　月　因　月　夏　月　因　月

行人[illegible]

[illegible]

[illegible]入[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の月

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

人[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

春　月　因　夏　因　夏　因　夏　因　夏　因　夏

[illegible] 友 [illegible] 仲は紅
[illegible] 梅を [illegible] 由く
千人を [illegible] 梅ぶ
[illegible] 月 [illegible]
長 [illegible] 啼鶯
社 [illegible] 山 [illegible] 秋
新 [illegible] 時 [illegible] 浜
[illegible]
[illegible] 古 [illegible]
[illegible] 袖
[illegible] 花の時
袖の [illegible]

春 因 [illegible] 因 [illegible] 因 春 因 春 因 春 因

さか姫 [illegible]
[illegible] 芳 [illegible] 雪 [illegible]
[illegible]
行 [illegible] 庵 [illegible] 也
賤 [illegible] 旅の [illegible]
世 [illegible] 袖
古 [illegible] 月 友 [illegible]
[illegible] 出の [illegible]
春 [illegible] 遠の芝 [illegible]
[illegible] 少 [illegible] の [illegible] 春
以 [illegible] 秋 [illegible]
河 [illegible] 所 [illegible]

因 [illegible] 因 春 因 [illegible] 因 [illegible] 因 [illegible] 因 [illegible] 因

[illegible]

[illegible]

美　同　因　同　美　同　因　同　美　同　因　美

[illegible]

姿さへ[illegible]

しのぶとしたる　情　[illegible]

[illegible]

いくたび　梅　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雨　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同　因　春　同　因　春　同　因　同　美　同　因　同

[illegible]　同春

遠くまみたる蓬　舟　同春

あるかたと新島守と　同

笘引くと伝力佳〳〵　同

さくら寿　榜ぐまみたる数　同

なるみ〳〵うまと冬〳〵比　同

きりのらお面の入日さへ　同

祝くらんのる島のかと　同

新くまへ〳〵金坂山をうてみく　同

岩ふまくみたる　同

焼木負　神山暑さを忘のきうる　同

小松のみくてうくまる陰　同春

花ちるを迎人の分るかな　同春

いつくまいまるかくうくらを　同

宗因五十

宗春五十

右両吟者奉納

伊勢太神宮法楽之百韻也

或人伝写原筆写

寛文元年季秋　西山

殘芳錄略目

殘芳錄は嶽裕二氏の方家の存ぜられし文房書籍玩弄の物を記録せられし帳簿にして、原稿は隅水氏の所有なり、今その文房の目録を見るに、併て他の存せし文房書画帳の目録と共に、佛像印章書画帳の別載す

文房

文机 二ノ四四

紫石硯 三ノ卅五

斑山硯 二ノ四十

蔓字硯 二ノ卅四

甜瓜硯 二ノ卅四

象谷硯 二ノ卅六

赤硯 一ノ四四

懷中硯 二ノ卅六

唐墨 二ノ卅七、四一

和墨 二ノ五一

藝墨 三ノ卅二

朱錠 二ノ卅六

大筆 三ノ卅一

唐筆和筆 三ノ卅八、卅二

朝鮮筆 三ノ卅九

一閑張筆入 三ノ卅八

水入 二ノ五六、四〇、三ノ十四

文鎮 二ノ四二、三ノ二六、五六

擴大鏡 三ノ四二

紙切 二ノ五六、三ノ六、十二、

猪光禄 二ノ四一
鈔筆家 二ノ四一
唐梨鐘 二ノ四一
枝折 一ノ六、三ノ三
文昌星 三ノ十五
古泉
古名 一ノ六
系花 三ノ八
古名堂 二ノ二、一ノ廿四
考古
石器 三ノ九
曲玉 三ノ九
象牙斧 三ノ九
土符 三ノ六
玩弄
古鏡 三ノ十
銘名多 三ノ十六
甕 三ノ四二、四四
大雅看板 三ノ四五
朝鮮尺 三ノ四三
逸遊録 三ノ十六
鑵合 三ノ廿四
横笛譜 三ノ廿四
祐筆家 一ノ四二
箱 三ノ二、十
香系 二ノ五六
鈔鋏鈴 三ノ廿七
小屏風 三ノ廿三
岩戸茶碗 三ノ廿二
○
根付 二ノ五二
夏雄鈸 三ノ四一
勝廣帯留 二ノ五五
勝瑶鈸 二ノ四五
墓碑銘 二ノ四五
鐙通し 二ノ四四
香炉 三ノ十三
紙雲母譜 三ノ十四
鉄瓶敷 二ノ五四
家具
嫁妻道物 三ノ廿六
落絵製 三ノ廿七
盆 三ノ四一、四三、四四
皿 三ノ四三、四四
灰皿 三ノ廿二
懐中煙草入 三ノ十二
服紗 三ノ十二、廿二
紙入 三ノ十八、廿六
経巻 三ノ四一、四二、
仏具
古経 三ノ廿四
法曼荼羅 二ノ五五
毘羅尼 一ノ廿七
瓦経 三ノ七
笹塔婆 三ノ四
陶製数珠 三ノ四二
数珠袋 二ノ五五
水壺 三ノ四三
香盒 二ノ五六
千社札板 三ノ廿、廿五、
経本 三ノ十三、廿三、二ノ十
印
芙蓉印譜 二ノ四六
鈔印 三ノ十六、四〇
徐三庚印 三ノ廿六
皇帝万歳 三ノ十六
鐘馗板本 二ノ廿二
印譜 一ノ廿七—廿三、二ノ二、廿二、廿四、廿七、廿八
栗山印譜 二ノ四六
印人伝 一ノ五〇、二ノ十八
版画
摺仏 三ノ廿四

續日列 三ノ四二
七小町 一ノ四四
一覽圖 三ノ十七

書畫

東照宮 三ノ卅
光廣繪紙 三ノ四二
秋成小帖 三ノ卅九
明月記 三ノ卅四
古文書 三ノ卅七
貞幹皇墩 三ノ四一
貞柳卷 三ノ卅七
蓍書手紙 二ノ卅六
夷曲同好 三ノ一
小西帖 三ノ十九
搭曲帖 二ノ一
熊葉帖 二ノ二、十
阿弥庵 二ノ廿二
琳子詳 二ノ廿三
寒碑帖 二ノ十九
樣岳 三ノ十二
知十帖 三ノ十一
鉄心扇 一ノ四四
書山扇 三ノ六
鈴馬 一ノ卅六

自筆

光琳冊 二ノ十一
常日集 一ノ卅六
永祿論語 一ノ卅七
武芥乘 一ノ廿四
其他 一ノ廿三、卅四、卅七ノ四二
二ノ一

法帖

聖教序外 一ノ四五、一五〇、二ノ一
貞觀照書帖 一ノ四六

宮本版本

自著自筆

國會議事

日本國憲法中議決案

東京府下麻布區霞町

○一五三

東京電話局